

(令和3年12月試験研究業務月報)

試験研究課題：ブランド京野菜生産拡大のための機械化・省力体系の構築

(1) エビイモ省力栽培体系の構築と実証

研 究

エビイモ栽培作業の軽労化に向けてアシストスーツ使用を試行

エビイモは「京のブランド産品」として府内各地で生産されていますが、その栽培管理や収穫作業の労働強度は強いことが規模拡大の制限要素となっています。特に収穫作業は腰を屈めた作業や運搬作業を行う必要があることから、軽労化が求められています。

そこで、当センターでは、掘取り機とアシストスーツの併用による軽労化を検討しています。12月上旬に、センターほ場で研究員など10名が、11月26日にはタスクチーム活動の一環として現地でエビイモ栽培農家1名が空気圧利用および電動のアシストスーツ2種を使用して収穫作業を行いました。作業後、アンケート調査によりその使用感と軽労化の程度を評価しました。今後、結果を取りまとめ、省力化に向けた作業体系の確立に活かしていきます。



収穫物の運搬作業（空気圧利用）



現地での掘取り作業（電動）